

# 家族会結成へむけ「11.23 動労千葉家族のつどい」大成功 苦しいたたかいの半分は家族の力で

## 日刊 動労千葉

86.11.27

No. 2416

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二五三五六（公衆）〇四七二（二二）七〇七

十一月二三日「動労千葉家族会のつどい」が千葉市内において開催され、五三名の家族が参加する中で、「早急に本部家族会の結成をはかる」「十二月中に家族交流会を開催する」ことを確認し「家族のつどい」は大成功のうちを終了しました。



中野委員長の講演も熱心に聞かせる家族

十時すぎ、天台家族会の桜沢さんの司会で「いま、私達の主人の職場は分割・民営化の首切り攻撃がふきあれていきます。首切りをやめさせるには家族ぐるみのたたかいが絶対に必要、『家族のつどい』を成功させ、動労千葉家族会の運動を活発にしていきたい」との開会あいさつが行われました。

団結こそ大変な時期をのりこえる武器だ

日本婦人会議・土屋さく



続いて、来賓の日本婦人会議の土屋さくさんより「仲間がいると思った時には強くなる。やはり仲間を信じ団結しなければならぬ。団結こそ弱い人間の武器である。ナイフでもピストルでもない。お互いがお互いを信じ、裏切らないという団結という力こそ大変な時期をのりこえる武器である」と自らの体験から話されました。

厳しい闘いの半分は女が担っている

反対同盟婦人行動隊長・郡司とめ



三里塚の現地から婦人行動隊長の郡司とめさんがかけつけられた。「私たちは動労千葉と車の両輪となつて闘いぬいてきた。いまほど、自分の正しさを主張していくには闘いぬいていくことが求められている時はない」と厳しい闘いの半分は女が担っている自信から力強いあいさつを行いました。

労組委員長になつた主人の支えが動労千葉の闘い

水戸動力車労組・家族 辻川あつ子

十一月十九日に動労「本部」と決別して結成した国鉄水戸動力車労組から辻川さんがあいさつをされました。「水戸でも家族会を結成して動労千葉とともに闘いぬくために勉強をしてみました。七年間運転の仕事に携つてきた主人が、半年前、突然おろされて人材活用センターに送りこまれ駐車場勤務をしている姿を見て、私もそのやり方に対しものすごく怒りを感じる。理不尽な攻撃に対し、許せないという怒りと、これを許すならば戦争にまきこまれていってしまふ、という気持ちで主人に協力し、自分自身も闘いを担つていこうと思う。

自分の主人が労組の委員長になつて、主人に頑張つてほしいと思うが主人の支えが動労千葉の闘いです。ともに頑張りますように」とあいさつされました。

（次号につづく）